

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月 30日

事業所名:たいようsun

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			密にならないように換気をしていく
	2 職員配置数は適切であるか	○			
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		コロナ感染予防対策もあり、常に換気や消毒等常に衛生面や安全面にきを付けている	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		日々、職員間で共通認識と確認を行い、振り返りを大切にしている	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		保護者の意向を把握し改善、向上に努めている	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		自己評価及び評価表の結果はホームページで公開している	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		検討中である
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		zoom研修などで研修をうけている	コロナ感染予防のため研修の機会が減っているのだが、資質向上のため行いたい
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		保護者との面談や書面等で課題やニーズの確認をしている。	
	11 子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		個々の支援計画に沿った支援を行う。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		職員間で話し合いをして決めている	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			職員同士で意見を出し合い工夫していきたい
16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○				

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		活動内容の役割分担は事前に	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		支援後に必ず一人ひとりの状況や課題等を職員間で共通認識を持ち次に繋げる	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		子どもの様子や支援内容、健康面、生活面(食事、排泄等)記録している	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		子どもの状況に合わせてモニタリングを見直し検討する	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	○		主に児童発達支援管理責任者が参画している	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		幼稚園、保育園との連携を行っている	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		情報共有の担当者会議に参加している	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		情報共有の担当者会議に参加している	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		あれば積極的に参加していきたい
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			コロナ感染が落ち着いたら積極的に参加したいと思っている
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		保護者と子どもについて共通認識するようにしている	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○		ペアレント・トレーニングを取り入れたいと考えている	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明している		
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○				

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		悩みが深い場合など時間をもうけ相談に応じ解決できるように対応して	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			コロナ感染が落ち着いたら父母会を開催したいと思っている
	36	子どもや保護者からの苦情について、対応の体勢を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情や相談があればその都度解決に繋がるよう対応している	苦情の内容によっては市町村や保健所等に知らせていきたい
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		個人的に連絡帳で情報を発信している。また、ホームページで発信している	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		常に相談や困りごとがある時はその都度解決に繋がるようにしている	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		検討中
非常時などの対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年に2回程度、訓練を実施している	避難訓練をしていることを保護者に伝えていく
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		保護者との面談で把握し職員間で確認している	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		アレルギーの有無、種類、数値を医師の指示書を元におやつ等配慮している	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		職員が回覧できるようにしている	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		研修に積極的に参加し職員間で適切に対応できるようにしている	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○		現在、対象児がいませんが、今後このようなケースがあれば保護者と話し合い考えていきたい	